

# 四国・水こぼれ話

Water Information Saloon Shikoku

## 談話室 Vol. 14

### 四国で一番人口の少ない町

徳島県 上勝町長  
かさまつ かすいち  
笠松 和市



上勝町は、徳島県の南東中央部、勝浦川の源流にあり、面積は109km<sup>2</sup>、人口2100人、高齢化比率46%、86%が山林でわずか1.2%の土地に急峻な田畑樹園地、標高100～700メートルの間に55の集落があります。昨年は、台風や集中豪雨、今年は干ばつに見舞われましたが、上勝町には、県営正木ダム（発電、洪水調節、農業用水）があり効果を発揮しています。21世紀は環境の世紀、昨年県営「高丸山千年の森」がオープンし、県民参加の森づくりが始まり、ブナの原生林で森林浴を楽しみ、山林管理で汗を流し、森林の公益機能などを体験し学ぶ事が出来ます。また標高650メートルには、全国棚田百選の檜原の棚田があり、全国一高価な棚田オーナー制がスタート。美しい棚田や適正に管理された森林は豊かな水源と生物を育む美しい川の源です。

本町の森林は人工林が83%を占めているが、木

材不況による管理不足により土砂流出が進みつつあり、農地にはイノシシや鹿が押し寄せています。食料や木材は外国からいくらかでも輸入できますが保水力や景観、大気の浄化能力などの環境資源は輸入することが出来ない事から森林農地管理士の確保育成に努めています。

また2020年を目標にごみゼロ（ゼロ・ウェイスト）宣言（現在ゴミのリサイクル率80%）や「日本で最も美しい村」連合を設立し環境倫理に基づく、21世紀「持続可能な地域社会づくり」を目指し、柿や紅葉などの葉っぱを料理の妻物として出荷する「彩農業」も年商2.5億円となり、高齢者の生き甲斐と健康づくりにも役だっているほか、月ヶ谷温泉の重油ボイラーを木質バイオマスボイラーに変えるなど環境への取り組みから、年間3000人の視察者が訪れる四国で一番人口の少ない元気なまちです。



正木ダム（別名美愁湖）—多目的ダム



高丸山千年の森（多様な動植物、保水力の宝庫）



檜原の棚田（美しい景観、洪水調節、保水力を育む）